

さつきバスのコンセプト(運行目的)について

現在のコンセプトの見直し

<現在のコンセプト>

交通弱者の移動手段確保 公共施設利用の利便性の向上 交通空白地帯の解消
 既存輸送サービスレベルの維持



<p><現在の運行体制は...> バス 6 台で市内全域を拡散して運行するため、 運行日、便数が少ない 路線が長距離・長時間化 ↓ 現在の利用者から改善要望が寄せられている。</p>	<p><利用実態は...> 高齢者(65歳以上)が8割超 病院、店舗、高齢者の趣味・楽しみ・生きがいに関係する所(老人福祉センター等)での乗降が多い 市全体では、高齢化が進行し、高齢者が増えていく。 最下段【参考】参照 ↓ 利用者層と利用形態を絞り込む</p>	<p><収支は...> 走行距離が長くなり、運行経費が増加 運賃収入はやや減 ↓ 収支改善が必要。</p>
--	--	---



新しいコンセプトの設定(コンセプトの絞り込み)

コンセプトを絞り込むことにより期待できる効果

一定の経費の範囲内で出来る限り多くの利用者の移動に対応した運行体制を確立することができる。

さつきバスのコンセプト(案)

交通弱者(主に高齢者)の移動手段確保
 利用実態とコストに応じた輸送サービスの提供

【参考】可児市の高齢化(65歳以上)

各年4月1日

年度	<実績>			<推計>		
	H18	H19	H20	H21	H22	H23
高齢化率(%)	15.6	16.4	17.1	18.7	19.2	19.8
高齢者数(人)	15,767	16,749	17,601	18,914	19,605	20,199